

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本理工情報専門学校は、平成30年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、平成31年4月6日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

平成31年4月19日

学校法人瓶井学園

日本理工情報専門学校

学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属	種別
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所 代表	企業等委員
蔵敷 重壽		元高等学校校長
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合 青年部顧問	業界団体
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社	卒業生／企業等委員
増南 正	有限会社スタジオ・マックス代表取締役	卒業生／企業等委員
篠原 史規	有限会社車楽工房	企業等委員
宮崎 吉雄	トナミ電工株式会社取締役会長	PTA／企業等委員
中野 聡	株式会社ジェイファスト	企業等委員

2. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	学校の理念・目標について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 職業実践教育協定書を締結する企業が増加しており、実社会を知ることのできる職業教育が充実することは良いことだという意見がありました。
(2)学校運営	「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行い、「学校案内」、「募集要項」についてはホームページでも閲覧できるようにしたが、より職業がイメージできるように「わかりやすさ」「内容の充実」を意識して常に見直しが必要であるという意見があり、今後とも見直し・検討を実施していくことになった。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 成績証明書発行、卒業証明書発行、卒業台帳の作成、卒業証書の発行等の業務のデータ化が整備され効率化が図られているが、引き続き個

	<p>人情報漏えい防止に関しては十分注意し管理体制を細部にわたり強化を継続していく必要性があるとの意見で一致した。また、増加傾向にある留学生についての学生管理については、より注意深く確認する必要であるとの意見で一致した。</p>
(3)教育活動	<p>「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」、「関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか」「職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか」、3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>成績評価方法を5段階評価に変更することで、より明確な評価を明示できるようになることについては良い評価を得られました。また、コース名の変更をすることにより時代のニーズと志望者に対する分野の明確性が為されていると判断されました。</p> <p>教育課程編成委員会においては基本的な社会人力の育成の議題にあがったため、今後カリキュラムの編成において検討することとなった。</p> <p>「関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成などの資質向上のための取組が行われているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p>
(4)学修成果	<p>「資格取得率の向上が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>資格取得率の向上には、重点的に取り組んでいる。第一種・第二種電気工事士国家資格については、土曜日に国家資格受験対策を集中的に実施することにより試験合格の成果を得ている。また、資格試験への受験率に関しても、学生への資格取得の重要性を理解させる等で改善していく必要性があるという意見があり、受験率向上に努力することになった。</p> <p>工事担任者 DD 第一種の養成課程を電気デジタル情報科、電子・情報工学科に対し開講し100%の取得となった。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>第28回大阪府公共建築コンクール「あすなる夢建築」において、建築デザイン科2年生が佳作に入賞するなど社会的な評価も得ることができている。</p> <p>また、引き続き卒業生の就業先企業等との産学連携の理解・協力を得ており、在校生の就職にもつながっている。</p>
(5)学生支援	<p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>成績・出席の状態について学級担任より保護者に連絡しており、特に成績・出席の状態が芳しくない学生の保護者に対しては詳しく状況を説明し、懇談を行うなど適切に対応している。</p> <p>留学生を受け入れてもらえる企業の開拓に力をいれ、今年度も新しく数社が留学生の受け入れをさせていただいた。</p> <p>夜間部を設置しており、社会人でも働きながら資格取得、スキルアップ</p>

	<p>を目指すことができる体制となっている。</p> <p>また、昼間部、夜間部とも専門実践教育訓練給付制度の対象学科となっており、当該学生は最大70%支給されるため、社会人のキャリアアップや学び直しを目指すことができる体制となっている。</p>
(6)教育環境	<p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」について、ほぼ適切、「防災に対する体制は整備されているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>海外研修等についてはアメリカ・ヨーロッパで行っていたが、学生の減少や経済状況の影響から定員に達しないことが続き現在は募集していない。</p> <p>非常時における教職員の役割分担を決め、適切な誘導ができる体制をとり、適時訓練の実施をおこなっている。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>全職員が意識を持って受入れ募集にあたる。</p> <p>引き続き、本校独自の奨学金制度を利用してもらい、保護者の負担感を考慮するよう努める。</p> <p>YouTube等の動画を学生募集に活用すべきだという意見があり、試験的に動画をアップしてみることもとなった。</p> <p>HPにおいては「わかりやすさ」「内容の充実」を継続して図っていく。</p>
(8)財務	<p>特に問題なし。</p>
(9)法令等の遵守	<p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」についてほぼ適切、「自己評価結果を公開しているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>自己点検・自己評価を実施し、問題点の改善に取り組んでいるが、点検項目については今後も検討を重ねていく。</p> <p>ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行っている。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>ボランティア活動を奨励しているが、参加者が少なく、普及活動の強化が必要である。</p> <p>大阪府の離職者等再就職訓練 を開講した。</p> <p>引き続き大阪市リハビリテーションセンターと講師派遣において提携している。</p> <p>その他は特に問題なし。</p>
(11)国際交流	<p>「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>日本学生支援機構 外国人留学生学習奨励費 職業実践専門課程特別枠として4名の推薦依頼を受けることができ、社会的にも一定の評価が得られていると判断できるとの意見が一致した。</p>